

## <参考>台タイヤのクレーム例

台タイヤの販売においては、クレームは付き物です。

クレームが出た場合、海外のバイヤーに対してクレーム品1本1本に対して、サイズ、グレード、クレーム理由を明記したクレームレポートの提出と、可能な限り写真を要求しております。

年数回～数年に1回バイヤーへ訪問して、現物の確認や今後クレームを減らすための協議をします。

海外のバイヤーと長期的にいい関係を保ち、サプライヤー様とも永続的にいい関係を保ち、品質の良いものを出荷していただくために、ご参考にしていただければと思います。

品質の基準として、大きな点は、

- ・修理が可能か
- ・安全な再生タイヤが生産できるか

です。

### トレッド部

大きなクギ穴



一見すると小さい穴に見えますが、太い釘やボルトが深く入り込んでいると、中のワイヤーが切れており、錆びている場合もあります。

中でセパレーションを起こしている場合もあります。

小さければ修理も可能ですが、バイヤーによっては修理をしたいところもある上、大きかったりワイヤーの錆が周辺まで行ってしまうと、修理はできません。

クギ穴の大きさは2mm程度までとお考えください。

### トレッドの荒れ



悪路を走ることによって石をかみ、トレッド部が荒れたものは、基本的に再生タイヤに適しません。

荒れがゴムの深さのみ、仮にワイヤーまで行っても、範囲が狭ければB台になりますが、範囲が広いと、トレッドを削ったときにワイヤーが見え、さらには広範囲にわたって錆びている事が多くあります。クレーム品として一番分かりやすいものの一つです。

#### ワイヤーの露出



左の写真は極端なものです。

トレッドの荒れと同様、傷などでワイヤーが露出したものは、範囲が小さく、錆びていない場合はB台となる場合がありますが、基本的に錆びているものが大部分なので、台タイヤとしては使えません。

#### ショルダー部の傷



トレッドでも、特にショルダーに近い部分に大きな傷があるものは台タイヤとなりません。

再生方法にもよりますが、多くの場合、バフで削っても傷が残り、そこから傷がさらに広がって修理ができません。

ショルダー部には特にお気をつけください。

## サイドウォール

### サイドの傷



サイドウォールは、ホットキャップでもトップキャップでも基本バフで削ることはありません。浅い傷で修復可能であれば修復しますが、多くの場合、中のワイヤーまで達していることがほとんどで、その場合は修理はできません。

また、再生工場によっては、修復をしないところもあります。

なるべく多くの台タイヤを使うため、できるだけBグレードで出荷するようにしますが、ワイヤーに達しているような深い傷は避けてください。

### サイドのこすれ



サイドのこすれは、一見すると浅くて、修復可能に見えますが、範囲が広いため、客先によっては修復をしないところがあります。

程度を見た上で、一部出荷可能な相手先には出荷しますが、Bグレードでも難しいものがあることをご理解下さい。



## ゴムの経年劣化



年式が新しいものでも、長期間屋外に保管されたタイヤは、風雨や紫外線でゴムが劣化します。ビードを持って、引っ張ってみて割れている場合は、台タイヤにはなりません。特にビードに近い部分に割れがある場合、バーストの危険があります。年式の古いものはもちろんですが、比較的新しいものでもご注意ください。

## ビード

### ビードの食い込み



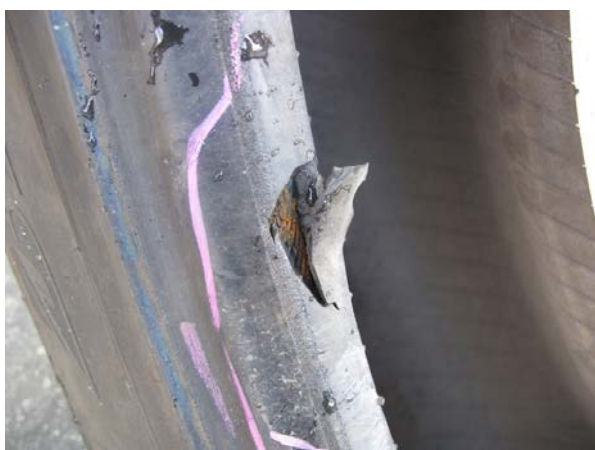
ビードの食い込みは、最近になってクレームとしてよく言われるようになりました。目安として、サイドウォールに工具を当てて、5mm以上ビードが下がっているようでしたら、避けてください。

### ビードの波打ち



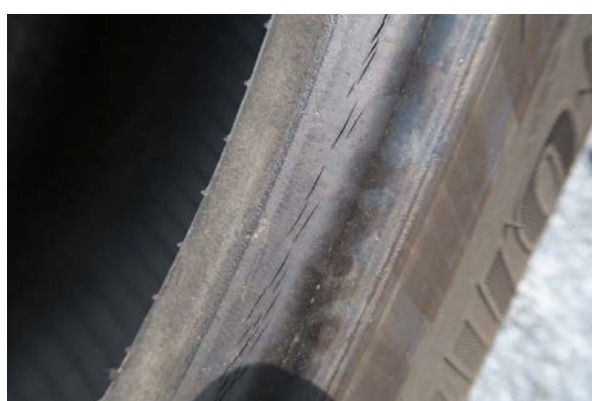
特に275/70R22.5に多いのですが、ビードの波打ちはクレームになります。目視でわかりますし、触ってみたりチョークを引いてもわかります。

### ビードの欠け



ビードに欠けや傷がある場合、内側の小さな欠けは問題ありませんが、大きく欠けていたり、内側のワイヤーが見えている場合はクレームになります。

### ビードの劣化

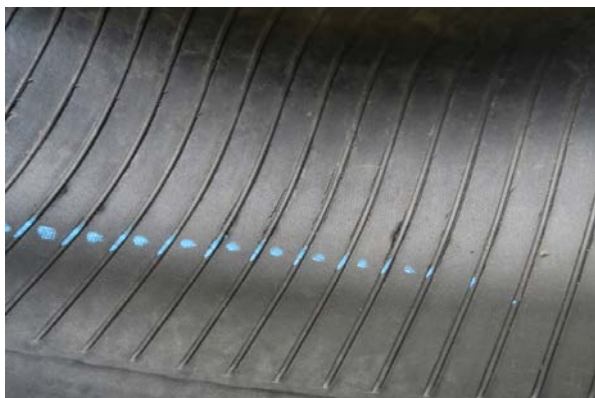


ビードが劣化して割れているものもあります。これもクレームになります。



## 内側

### 内側の割れ



基本的に内側に傷があるものは、バーストの危険があるため台タイヤとしては使えません。  
この場合、おそらく空気圧が低い状態で走り続けたと思われます。

### ショックバースト・セパレーション



左はショックバーストといわれるもので、走行中に大きな石を踏むなどしてできた傷で、外側は少しへこんでいる程度か、何も傷がないように見えますが、内側は大きな傷となっており、修復は不可能です。  
右は内側が大きく膨らんでいます。これは極端に大きいですが、小さなものでも使えません。

### 大きな貫通穴



小さい釘穴程度のものが、離れた位置に2ヶ所まである場合はB台となります。  
これだけ大きいと修理できないため、クレームとなります。

サプライヤーの皆様には、今後も品質の高い台の供給をお願いいたします。